

授業科目

産婦人科学

担当教員名 児玉 省二	対象学年	2	対象学科	救急
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	

授業の概要

産婦人科領域は、女性特有の疾患および妊娠・出産に関する事柄を理解した上で観察・評価を行う必要がある。特に、出産においては、生活背景や経済状態などの状況によって複雑な対応を求められる可能性もあり、保健医療制度や社会福祉関係との関連も理解しておくことが必要となる。

本科目では、産科・婦人科領域に関係する、妊娠・分娩の解剖・生理および産科・婦人科領域に特有の疾患（救急疾患）や受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について、またそれらの観察・評価、救急時の対応等について学習する。

授業の目的

1. 救急救命士に必要とされる産科・婦人科領域に関係する、妊娠・分娩の解剖・生理および産科・婦人科領域に特有の疾患（救急疾患）や受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について理解し、それらの観察・評価、救急時の対応等に関する専門的な基礎知識を修得する。

学習目標

1. 救急救命士に必要とされる産科・婦人科領域に関係する、妊娠・分娩の解剖・生理および産科・婦人科領域に特有の疾患（救急疾患）や受傷（外傷）の発症／発生機序、解剖・病態生理、症状、所見、予後等について理解し、それらの観察・評価、救急時の対応等に関する専門的な基礎知識を修得する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	妊娠と分娩（1） 正常妊娠	講義	児玉 省二
2	妊娠と分娩（2） 異常妊娠	講義	児玉 省二
3	妊娠と分娩（3） 正常分娩と異常分娩	講義	児玉 省二
4	妊娠と分娩（4） 妊婦の観察と処置	講義	児玉 省二
5	妊娠と分娩（5） 新生児の観察と処置	講義	児玉 省二
6	妊娠と分娩（6） 医療機関選定	講義	児玉 省二
7	女性生殖器の疾患，妊婦の外傷	講義	児玉 省二
8	まとめ	講義	児玉 省二

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻	救急救命士標準テキスト編集委員会	へるす出版	2015年	9,800円+税	1年次購入済
参考書						
その他の資料	必要に応じて参考資料を適宜配布する。					

評価方法

科目試験（100%）

不合格者に対しては、1回再試験を行う。

必要な場合、レポートを課し、その結果も評価対象とする。

履修上の留意点

本科目では、基本的事項を効率よく理解するために、指定の教科書を使用する。

授業前に教科書を熟読しておくこと。授業中は、講義内容を理解し、重要な事項はその場で頭に入るように配慮した講義を行うので、ノートはとらず、メモ程度にして考えるゆとりを作る。授業後の復習も必須である。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。